

- 耐えしのぶ心
- 新春放談
養護教諭と学校保健
- 春・秋の叙勲者、文部大臣表彰
- 第31回全国学校保健研究大会
- 昭和56年度養護教諭実技講習会

会報をよくするため、読者のご意見を求めています。お葉書をお寄せください。

The School Health (No.140)

学校保健

昭和57年1月1日発行
(隔月発行)

発行 日本学校保健会
東俊郎
〒105 港区虎ノ門2-3-13 第18森ビル
電話 (501)3785・0968
振替口座 東京 4-98761
頒価1部100円(送料共)

年頭所感

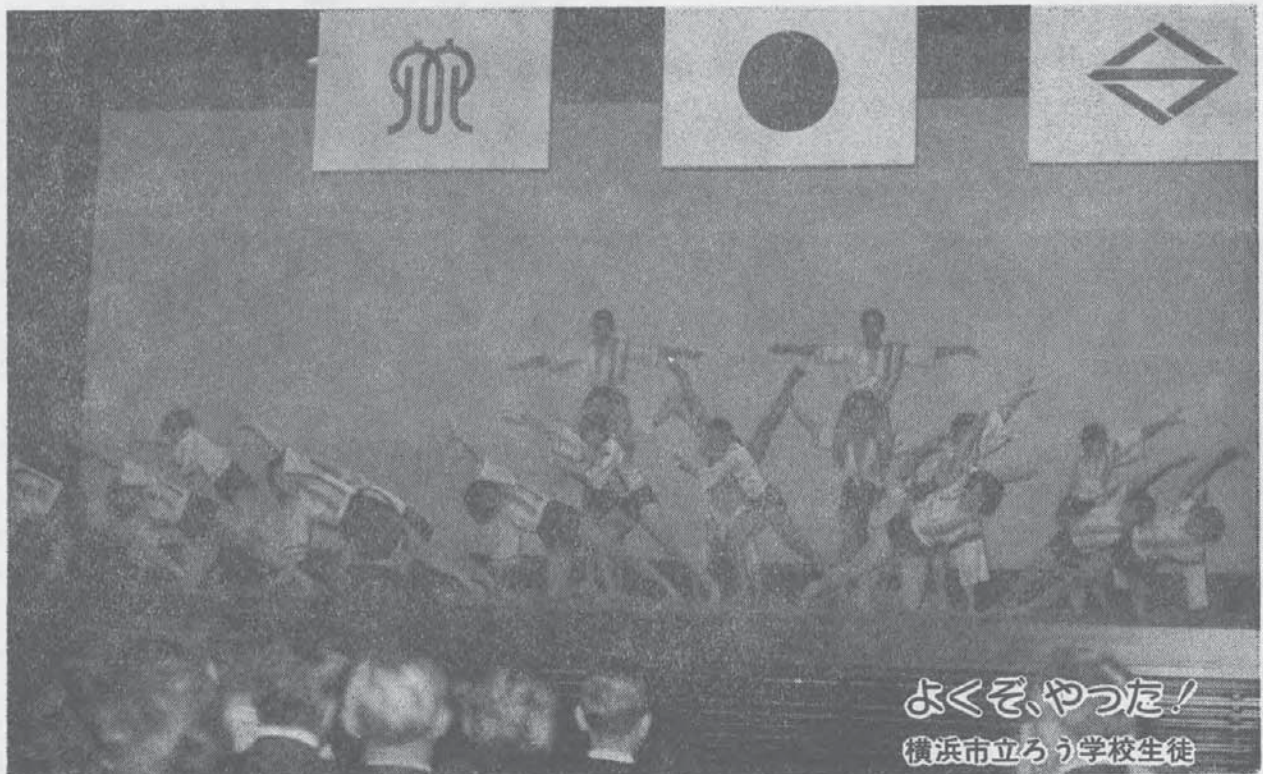
耐えしのぶ心・たくましい青少年

(財)日本学校保健会

会長 東 俊 郎

日本学校保健会は、生命の尊厳性を基盤にして生涯保健を志向し、自ら考え、自ら行動する健康な、児童生徒の育成をめざしております。そのためには、国の学校保健行政に協力する一方、都道府県指定都市の学校保健会、ならびに関係諸団体と連絡提携を密にして、この願いを達したいと思っております。

昭和57年は、学校保健センター的事業をさらに充実するとともに、山形県の第32回全国学校保健研究大会と協議大会。また、地域ブロックの研究協議大会、養護教諭実技講習会などを、みなさんと共に推し進めたいと考えています。児童生徒の健康は、社会の変転につれ新しい阻害要因が増加しています。これらの課題に積極的に対処し、将来の日本を担う児童生徒が、創造力と活動力にとみ、ものごとに対し耐えしのぶ心をもった、たくましい青少年に成長して欲しいと願っています。



よくぞ、やった!

横浜市立ろう学校生徒

新 春 放 談

学校保健と養護教諭

昭和57年の新春を迎え、東京都養護教諭研究会のみなさんの抱負を語っていただきました。司会は元研究会長であり、また、会報「学校保健」の編集委員の堀内フミ先生。出席者は、松本マツエ(富谷小) 田口富子(大門小) 佐藤良志子(山崎中) 伊藤幸子(長崎中)の4人の先生です。

堀内 生涯保健という問題について皆さんの経験から問題提起をお願いします。まず、小学校から。

田口 生涯というとむづかしいですね。現場で仕事をしています。生命の尊厳と口では簡単にいいますが、社会の中でも大人でも、ほんとうにわかっているのかしらと疑問に思います。また、子供たちに生涯の健康について考えさせることは、教師にとっても大へんなことだと思います。そんなわけでこのことは、教育現場で重視されていないのが実態だと思います。

私たちは教えるということより、一人一人の子供に健康の実態を見つめさせ、考えさせること。そして、自分の生命だけでなく、他人の生命も大切に考えなくてはいけない、ということをも身につけさせることが課題だと思います。



松本 健康というのは、人間の生き方そのものだと思います。みんなが仲よくやっていくという心の健康が体の健康の基本ですね。実例をあげますと、今日も2年生が4人ほど連れだって保健室へきました。それぞれ、

頭が痛い、だるい、カゼをひいたなどというので、一人一人にそれはどうしてなったと思う、と考えさせてみました。すると、夜ふかしをした。TVを遅くまでみていた。などの原因がでてきます。一人は

咽頭発赤もあり、微熱なので帰宅させようとするので、家に帰ってもお母さんがいない、といいます。家庭生活に原因があることが多く、頭で知っていても体でわかっていないというのが問題ですね。

堀内 先生の学校では、そういうことについて教室でどう教えているのですか。

松本 全校一せいに保健指導の時間を設定し、自作のTV資料を使用した導入の後に、各学級で担任がやる。という方法をとっています。

堀内 1.2年、3.4年、5.6年位に分けて保健指導しないと効果があがらない、と思います。保健室へきた子供の指導だけでは、ほんとうの保健教育はできませんね。



松本 家庭に問題があって、こどもの心が前向きにならない環境の子が多いですね。

堀内 具合が悪かったら保健室へ行け、と考えている親が多いのですね。

田口 保健だよりをだして父兄に読んでもらうようにしているのですが。学級指導と個別指導の二本立がよいですね。

堀内 中学校では、どうでしょうか。



佐藤 中学になると、すぐ社会へ巣立つ子もいます。また、進学しても中退して就職するというケースもあります。中学生の場合は複雑で、体が中年になってしまったのではないか、というような訴えが多いですね。

そんな子に、「社会へでてあと何十年も生きていけるの」というと、はじめて体のことに気をつく子が多いです。また、家族関係が身体症状に表われる子も多いですね。例えば、夫婦げんかが原因の場合、「あなたならどうする」と、将来を考え冷静に指導する。

中学は、3年間なので、教科の先生の協力が得られにくく、しかも、対応にはスピードが要求され大へんです。子供から大人への移行期であるとともに受験があるのでね。

生涯をとおしての保健ということでは、性教育が重要です。そこで私が中心となり2年生に行っています。性の問題は、一般教師と養教が一語になって考え指導できる問題だと思います。

堀内 町田市は、急激に人口が増加した市で、いろいろと家族関係もむづかしいようですね。

佐藤 私のところは、団地がほとんどです。団地以外は、13人しかいないという特殊なところですよ。お母さん達とどうコンタクトするか工夫しています。

伊藤 うちは池袋という繁華街と、住宅地、商店街とバラエティーに富んだところですよ。そして、共働きや自家営業の家庭の多いところですよ。7年前、私がくるまでは養教がいませんでした。そのころウ歯が多くて驚きました。そこで歯は一生使う大切なものだ、と、ウ歯と栄養調査に積極的に取りくみました。子どもは、もちろん親も無関心で、痛くないから、受診も治療もしませんでした。

堀内 痛まないうちに治療する。ウ歯にならないように指導するのが大切ですね。

伊藤 クラブだとか塾だとか、自分の好きなことはやるが、歯科医の多い地区なのに治療しない子がいるのですね。基本的な生活態度ができていない中学生が1~2割いるようです。そんなわけですから、お母さんたちに栄養調査をきっかけとして、関心をもってもらいたいと考えています。



栄養調査は、自分ほどの位栄養をとっているかを調べさせています。

堀内 受診率を上げるのにクラスごとの点数表を作ったらどうですか。

伊藤 学校では、いろんな表彰が氾濫していますが、

保健の方でも思っています。

堀内 イラストを廊下に掲示して、関心を高めたらどうですか。

松本 ほんとうは、子供たちが管理されているのではなく、自分で考えてやるのが大切ですね。なんとなくやらされている、というのはどうかしら。

佐藤 小、中の関連が、一時より停滞していると思います。小学校から積み重ねたものが、中学校に生かされてないですね。生かされているのは、熱意のある教師がいるときだけ、というのは淋しいですね。

田口 幼、小、中がありますが、実際には、一貫した保健教育が行われていないと思います。また、親も教師も、できることをしないという現状を打破する。次に保健教育の時間をとることがまず第一ですね。また、子供たちの問題を地域のPTAにくり返し提案して、意識を高めることですね。

松本 養教は各学校1人だから、なかなか問題の提供がむづかしいですね。

堀内 とくに子どもの性格形成には、乳幼時期の親子関係が重要です。生涯保健をみざすには、PTAの啓蒙をするため、養護教諭の健康状況に関する資料の提供が必要ですね。学級担任も、学級の健康に関する情報を家庭に知らせるようにする。新教育課程の実践に当り、学校保健が教育活動の中で重視されることを希望して、結論としたいと思います。

(抄録 杉浦 稔)

◆ 表紙によせて ◆

横浜市ろう学校の生徒による創作舞踊は、見るものの心を強く打った。障害を克服し、力いっぱい自分の可能性に挑戦している生徒さんの、ひたむきな姿と眼なごしは、全国から集った4,000人の人たちに深い感動を呼びおこした。惜しみない拍手は、本研究大会の標題と連動し、大きなうねりとなった感があった。

黒岩英己先生と生徒たちは、周囲からの温い励しとあいまって、リズムを耳から聞きとることのできないハンデキャップを、残された視覚と振動感覚とを、ただ一つの手がかりとして、この難関をみごとに克服した。よくぞ、やった！ 横浜市立ろう学校の生徒のみなさん、そして先生。

(いしい)

昭 和 57 年 度 叙 勲 さ れ た 学 校 保 健 の 功 労 者

《春》

《秋》

◎学 校 医

〈旭 五〉

渡辺 琢一 (愛知県) 平尾 安一 (和歌山県)
野口 修 (東京都)

〈瑞 五〉

小池 義夫 (島根県) 日比 元重 (滋賀県)
本間 吾市 (北海道) 若松 光家 (鹿児島県)
今井 丈二 (千葉県) 小林 真杉 (神奈川県)
小野 順一 (大分県) 安孫子 栄 (埼玉県)
金子政五郎 (山形県) 中村 伸久 (広島県)
藍田 俊郎 (愛知県)

〈藍綬褒章〉

黒田 健雄 (和歌山県)

◎学校歯科医

〈旭 五〉

大坪 俊一 (長崎県) 下條 氏信 (福岡県)

〈瑞 五〉

宮坂 周二 (長野県) 西村 廣治 (大阪府)
内山 三郎 (秋田県) 宮下 清 (東京都)
枝 要司 (茨城県) 石橋嘉一郎 (青森県)
安井 四郎 (石川県) 青木 勝二 (富山県)
吉崎 久 (長崎県) 菅野 将雄 (福島県)
宮下寅之進 (千葉県) 遠藤 恒 (長野県)

◎学 校 医

〈旭 五〉

霞 伸 (千葉県) 赤羽 毅 (長野県)
飯塚左右二 (茨城県) 浮田 誠夫 (北海道)

〈瑞 五〉

越後 長明 (石川県) 志賀俊一郎 (福島県)
杉浦 貞 (埼玉県) 瀧井憲次郎 (福岡県)
原田 隆 (北海道) 松山 武郎 (群馬県)
三上 四郎 (神奈川県)

◎学校歯科医

〈旭 五〉

阿部 清一 (富山県) 鰐石 俊男 (山口県)
井村 伸一 (愛媛県)

〈瑞 五〉

小泉 徳藏 (神奈川県) 杉山禄七郎 (静岡県)
竹内 尚 (千葉県) 田邊 傳藏 (三重県)
野中 敏英 (大分県) 福澤 勝男 (長野県)
村松富次郎 (山梨県) 土居 信久 (大阪府)

※ 生存者に対する叙勲は、昭和38年より再開された。
今回までに111,706名が受章(杯)の荣誉に浴されている。

叙勲に際して

霞 伸

今回、叙勲の光栄に浴し、あまつさえ日本学校保健会より、学校保健の発展振興に寄与せるかにより記念の銀盃を頂戴いたし、身に余る光栄でございます。

不肖、元来独りで仕事を完成することなく、皆様のお蔭で漸く物事を完成するような有様でございます。従って、今回も皆様のお蔭と感謝感激で一杯です。

齢も已に八十歳を過ぎ、一日一日が儲けものでございます。

いつも少しなりと社会の為にご恩返しができればと願っております。

今後も皆様のご指導ご鞭撻をお願いする次第でございます。



第31回 全国学校保健研究大会 文部大臣表彰の個人、学校、団体



◇学 校 医 (26名)

三 山 英 二 (北海道)
 佐 藤 良 治 (岩手県)
 稲 葉 貞 一 (秋田県)
 黒 澤 廣 (福島県)
 豊 島 正 道 (茨城県)
 谷 川 治 男 (埼玉県)
 遠 藤 茂 (東京都)
 牧 野 正 路 (東京都)
 永 田 利 隆 (神奈川県)

塩 崎 照 正 (神奈川県)
 後 藤 昌 人 (神奈川県)
 島 倉 喜 作 (富山県)
 岩 附 晋 一 郎 (長野県)
 肥 後 仲 吉 (静岡県)
 植 村 良 雄 (滋賀県)
 古 川 太 一 (京都府)
 黒 本 武 房 (大阪府)
 前 田 高 明 (和歌山県)

林 清 三 (島根県)
 堀 江 正 信 (広島県)
 高 場 賢 治 (広島県)
 小 西 久 士 (香川県)
 前 間 正 則 (福岡県)
 岡 安 敬 三 郎 (佐賀県)
 平 山 光 美 (長崎県)
 作 正 彦 (宮崎県)

◇学校歯科医 (23名)

石 井 次 三 (北海道)
 大 塚 幸 夫 (青森県)
 赤 坂 栄 吉 (岩手県)
 大 峽 正 (山形県)
 金 子 雅 英 (埼玉県)
 中 村 明 雄 (東京都)
 飯 田 嘉 一 (東京都)
 小 野 龍 馬 (神奈川県)

杉 原 弘 三 (神奈川県)
 飯 原 澄 (新潟県)
 浮 田 豊 (石川県)
 天 谷 信 哉 (福井県)
 杉 山 晨 夫 (三重県)
 賀 屋 重 雍 (大阪府)
 上 田 正 一 (奈良県)
 川 口 英 雄 (和歌山県)

今 田 晴 隆 (鳥取県)
 熊 代 甫 (岡山県)
 平 田 千 都 子 (高知県)
 阿 部 巖 (福岡県)
 田 苗 正 臣 (熊本県)
 鬼 塚 豊 治 (大分県)
 重 城 昇 (宮崎県)

◇学校薬剤師 (11名)

佐 藤 澄 (北海道)
 千 葉 武 (宮城県)
 菱 沼 恵 (栃木県)
 加 藤 進 康 (群馬県)

山 本 幸 子 (神奈川県)
 佐 藤 光 春 (岐阜県)
 柑 田 利 夫 (愛知県)
 井 原 孝 (大阪府)

大 田 義 雄 (広島県)
 倉 石 久 (福岡県)
 長 篤 文 (鹿児島県)

◇校 長 (5名)

橋 井 盛 夫 (京都府)
 水 野 一 也 (兵庫県)
 水 池 誠 一 (兵庫県)
 中 嶋 春 吉 (神奈川県)
 三重野 正 亀 (大分県)

小 川 好 平 (千葉県)
 後 藤 元 雄 (愛知県)

◇養護教諭 (2名)

樋 口 文 子 (山梨県)
 桑 本 豊 香 (熊本県)

◇学 校 (6校)

八 戸 市 立 三 条 小 学 校 (青森県)
 日 立 市 学 校 薬 剤 師 会 (茨城県)
 北 群 馬 ・ 渋 川 学 校 保 健 会 (群馬県)
 徳 山 市 立 馬 島 小 学 校 (山口県)
 砥 部 町 立 麻 生 小 学 校 (愛媛県)
 小 林 市 立 南 小 学 校 (宮崎県)

◇保健主事 (3名)

鈴 木 勲 治 (群馬県)

◇団体役員 (1名)

大 濱 方 榮 (沖縄県)

第31回全国学校保健研究大会

1. 特別講演

豊かな人間性のための教育

元文部大臣 永井道雄

ヨゼフ・ピタウさんの代りにきたわけ

私が昭和49年、文相となったころは、教育を企業と考えている病的状況があった。ピタウさんのいた上智大学は120人の神父さんが、俸給の2/3を大学へ寄付し、教育内容や施設の充実を図っている大学である。そこでピタウさんに文部省の懇談会のメンバーになってもらった。ピタウさんはイタリヤ人であるが、国際会議などでは「わが国の教育は」と発言する程に日本の教育を真剣に考えている人である。

ピタウさんはイエズス会の仕事で急に帰国された。敬愛するピタウさんに代って、ピタウさんの考えられた題で話をすることにした。

価値観について

現在の教育の基本的価値は大丈夫なのか考えてみたい。現在の日本は経済大国といわれ、先進国の仲間入りをしている。これはGNPという物差しで分類しただけのことだ。金持ちになったから人間が偉くなったとか、教育が良くなった、とは云えない。人間の価値は経済ではきめられない。経済は手段であって目的ではない。人間生活の目的から考えると経済力や軍事力よりも重要なものがある。それは、主権を持った国民が、自由に責任を持った人間に育つことである。

一方、言論、思想の自由ということを考えてみると、これは歴史的にみても簡単に獲得できたものではない。ところが現在は、視聴率のためには暴力物やポルノまがいのものがふえ、そのTVを1日平均3時間も視ている。他方劇画が氾濫し、中学、高校生の読書は減っている。これは社会問題である。

これは日本だけでなく世界的な病気である。米国でも200年前の、あの立派な建国宣言は忘れられている。昔、世阿弥は「初心忘るべからず」といった21世紀の終りに、このことを真剣に考えてみる必要がある。

嘉納治五郎先生のこと

戦前、体育保健のリーダーだった嘉納治五郎先生は、東京高師で体育の重要性を説いた先覚者であった。当時学校では、修身や倫理が幅をきかせていた

が、先生は柔道を基本として「心身一如、自他共栄」を教えられた。その教えを受けた人たちが各学校の校長となり、全国の小学校に立派な運動場を作り徳育と体育を同列にされたのである。

また、柔道ばかりでなく、陸上、水泳など西洋のスポーツを積極的にとり入れた。中国からも多数の留学生が来日し、先生と起居をともして学ばれた。

嘉納先生の偉大さは、共産党へ入る前の毛沢東の論文に体育の重要性を記してあることで、これは、毛沢東の友人が先生の教え子であったから、その関係で説かれたという。先生は体育を通して道徳を作り、文化を作り、日本だけでなく広くアジアに影響を与えたのである。

これからの教育を考える

しかし、現代は嘉納先生でも考えられない時代となった。それは科学技術の発達である。家庭生活でもさまざまな便利な器具が入り、交通や通信の発達は日本中にゆきわたっている。これから先が問題なのである。もし人間が賢ければ、世界に原爆などないはずである。

われわれはこの科学技術の発達にあわして、どう人間を育てていくかが問題なのである。いまは日常生活が便利になり、子供たちを過保護にして、自己抑制のきかない子が増えつつある。受験があり、そのあとには競争社会がある現在、耐久力のある、自己抑制のある子供しか生き残れないと思う。

便利になって人間が幸せになるという保証はない。また、自分の意志で自分の生活をするということは大へんなことである。心身ともに足腰の強い子に育てるという体育保健こそが学校教育の中核である。

戦前の窮屈な時代でも嘉納先生のような方がたがいた。後輩である私たちは祖先を辱しめてはいけない。祖先のしかばねの上に私たちの道はある。できれば祖先より半身でも前進できれば良いと考えたい。

自分の体は、自分のものであって、自分のものではない、人のためにある。かえりみて価値ある生活ができたことと微笑むことができるような人生を営むことを祈るものである。 (抄録 杉浦 稔)

2. 全体シンポジウム

自ら考え、つよくたくましく生きぬく児童生徒の育成

主題設定の趣旨

生命尊重の理念に立ち、子ども自らが健康の喜びを味わい、さらに積極的に健康づくりの習慣を身につけるため、学校や家庭・地域のあり方や、相互の協業活動などについて考え、これによって主題別シンポジウムの方向を明らかにする。

座長 横浜市保健会会長

榊田 桂

提言者 東京大学医学部教授

平山 宗宏

聖心女子大学文学部教授 岡 宏子

青山学院大学講師

須藤 久幸

日本地域福祉施設協議会会長 阿部 志郎

司 会 全体シンポジウムの趣旨に添って、各提案者に意見をのべてもらいます。21世紀をめざし、健やかに生きる子どもの育成は、大きな課題であります。健康な生活は、自分だけのものではなく、まわりの人の健康をも考え、共に健康な生涯を過ごすことができるようにしたいものです。それには、まず、保健学の立場からどうぞ――

平山 教授

今の子どもは、骨折しやすい、倒れやすい、あるいは、機敏性に欠けているなど、情報が流れていますが、医学的な根拠には欠けています。しかし、体位の向上にみあうだけの運動能力や精神の発達がなく、心身のひずみやアンバランスもありますので、じゅうぶん考慮する必要があります。われわれは、医学と教育的立場から、具体策を立て、健康な子どもを育成しなければなりません。例えば、慢性疾患の子どもは、正しい管理と指導をすることによって、一般の子どもたちと同じ学校生活ができるよう配慮することなど、新しい対処のしかたであると思います。

須藤 元 校長

学校も親も児童生徒の健康の大切さは分かっていますが、とかく教科指導に意が注がれ、学校保健を教育活動として捉えていない傾向が多分にあります。それには、

- ① 学校保健を特定少数の教師と学校医等のものにしないうで、学校全体のものとしたい。
 - ② 学校経営と学校保健の位置づけと機能化を図り、学校のシステム化をはかりたい。
- ・学校保健を人間形成の目標とし、健康診断や

管理と指導は、教育活動であるとの認識を高めるようにしたい。

- ③ 全校、家庭とが協業して学校保健を推進するようにしたい。

以上を骨子として、過去の実践例を紹介し、学校経営と学校保健のあるべき姿を追求した。

岡 教授

からだがよくて体力が余っている。自分の目でみて、頭で考え、手足を使ってやろうとしないで、ドロントした目をして、なかなか決断がつかなくて、ぐずぐずしている。また、何かをしようとしても、目ざしている行動に到達する前に意欲を失い、ねむってしまう。ヤル気とは、自らは何をするのか、それを果したときの充実感、さらに自分を高めようとする志向性から生れてくるものです。それを育てるのが教師や親の役割りであると思います。

阿部 会長

来るべき高令化社会を担う子どもたちは、強いものと弱いものが連帯して、住みよい地域社会をつくることです。現在は、核家族、自然破壊、競争社会の激化、価値観の変化、子どもの心身のアンバランスなどが目立っています。青少年の健全育成は、開かれた地域社会の中で、家庭、学校、各機関の連係プレーを図ることによって可能です。

しかし、今日の地域社会で子どもの健康を守ることは可能でしょうか。

司 会 貴重なご意見をありがとうございました。今日の討議をもとに、明日行う主題別シンポジウムで、じゅうぶん話しあってください。

(福原保子)

全国養護教諭研究大会 (千葉県)

ところ 成田国際文化会館

と き 昭和56年8月6日(水)・7日(金)

全国養護教諭研究大会は、地方開催の第1回目として、千葉県成田市に、全国から約1000人の参加者を得て盛大に開催された。

本大会は、現在の児童生徒の健康と安全に関する対応の重要性にかんがみ、学校保健に係わる専門職としての養護教諭の資質の向上を図るため、2日間の日程で研究協議が行われた。

第1日は、文部省高石邦男体育局長から、「学校保健の現状と課題」と題し、21世紀に向けての強くたくましい子育てについて、示唆に富んだ講演があり、また、日本大学大国真彦教授から、近年の慢性疾患や、成人病的疾患の若年化に伴う児童生徒の今日健康問題とその対応について講演があり、総合的な学校保健活動の重要性を強調された。

次いで、行われた小、中、高校の代表3名による研究発表では、それぞれの学校のもつ特徴的な問題

について実践研究の成果が発表され、参会者の共感を呼んだ。

シンポジウムは、昨年と同テーマで、「たくましい体と豊かな心をめざす教育と養護教諭の役割」をとりあげ、各領域のシンポジストから、期待される養護教諭の役割について提言があり、今後の実践について多くの課題が提示された。

第2日は、現代の大きな課題である「子どもの精神衛生」と題し、京都大学河合隼雄教授の講演が行われた。さまざまな問題行動をもつ児童生徒に対する養護教諭の果たす役割とその方法について、事例をとおした具体的な内容が話され、参会者に深い感銘を与えた。

分科会は、校種別の事例発表と研究協議で構成され、それぞれの問題点を中心テーマとして、各部会とも予定された時間を超過する熱心な研究討議が展開され、盛会のうちに終了した。

2日間をとおし、まことに有意義な研究大会であった。(花島あさ子)

昭和56年度 養護教諭実技講習会

Ⅰ 北海道・東北ブロック (山形県)

ところ 山形県青年の家 参加人数83名

ところ 昭和56年10月26日～31日

「児童生徒にみられる慢性疾患の管理と指導」

児童生徒にみられる慢性疾患を大別すれば、(1)循環器疾患、(2)腎疾患、(3)アレルギー疾患、(4)血液疾患、(5)呼吸器疾患、(6)整形外科疾患、(7)成人病、(8)その他に分けられる。学校保健の上からは(9)として虚弱や運動不足をあげ、(1)～(8)に準じた管理と指導が必要であろう。

慢性疾患児は健康児と比較して、何らかの身体上のハンディを持つ子である。一般に病気を持つと劣等感や神経質、調和のとり方が下手になり、暗いイメージを持ちがちである。学校においては、保健管理・保健指導を徹底し、疾患の回復、健康度の増進をめざした特別の配慮が必要である。それには当該児について第1に疾患の実態の把握(病理・程度・医学的治療の現状と将来、予防等)、第2に環境、人間関係の把握、心理の理解をはかる。第3としては「する側」と「される側」の信頼関係を大切にし、担任教師、養護教諭、医療機関、保護者間の思想の統一、連帯、支援が重要なポイントになる。管理と指導の終局的な目標は、当該児が自己の状態につい

て正しい理解を持ち、ハンディを持ちながらも、それを乗り越えて前向きに生きていく能力や習慣(自己管理)を身につけることである。学校はこの面からみても生涯教育の重大な部分を担当している。そのため学校では、当該児に対する適切な保健管理・保健指導の計画を立てる事が必要である。

〈保健指導計画作成上の留意点〉

1. 保健指導面

- (1)医療に積極的に参加する態度 (3)情緒の安定
(2)病状にあった生活習慣の確立 (4)疾病の予防

2. 保健管理面

- (1)病気の進行条件の排除
(2)健康増進(栄養、睡眠、運動、清潔)
(3)健康観察の重視(チェックポイントを明確に)
教科学習の面においても健常児にくらべ疲労が多く更にその回復が遅い、集中力が長つづきしない配慮しなければならない。また、学校行事等に参加を制限した時の処置について、じゅうぶん配慮する必要がある。

正しい慢性疾患の管理と指導を行うために養護教諭は、正しい医学知識を持つと共に暖かい気持で接し、自立を促すようにして欲しい。

以上、川崎憲一先生のご講義を要約し記述しました。(山形県 横山和子)

2 関東ブロック (群馬県)

ところ 赤城緑風荘 参加人数78名
とき 昭和56年10月12日～17日

やる気と自信を育て、感銘を受けた学校保健委員会

第3日目は、昨年度文部大臣の表彰を受けた高崎市立第二中学校を視察した。20年の歴史と、伝統をもつ、特色のある学校保健委員会の実際について記述する。

以下、受講者の感想を含め概略を記してみたい。

- 議題 (1)学習と保健について (2)その他
- 出席者 (学校長、教頭、保主、養教、学年、性教育、体育、理科、家庭科の各主任、生徒会、清掃美化各担当教諭代表、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、生徒保健委員各学級代表、生徒会役員、PTA会長、PTA保健部員代表、巡回理事)
- 報告 事前に生徒保健委員が全校生徒を対象にして行ったアンケート結果を、各学級で話し合ったことを、学級代表が発表した。
- 内容 就寝、起床時刻、睡眠時間、机上照明、読書時の姿勢、筆記具等について
- 協議 質疑応答、続いてなごやかな話し合い。専門スタッフの適切な指導助言。
- 〈約束事項〉・協議内容は、必ず学級、家庭へ伝達する。・司会は順番制…本日は女子保健委員
- 話し合いのひとこま
生徒…机上の明るさは、どのくらいが適当ですか。

学業…最低200ルクスは必要ですね。

生徒…よい姿勢とはどういう姿勢ですか。

体育主任…あごをひいて足をまっすぐ出す。英国紳士が歩くようにね。(実演してみせる)

校医…悪い姿勢の中に隠れた脊柱側湾症の説明

養教…よい姿勢については、保健室に掲示してある図をもう一度見て、自分の姿勢を確かめましょう。

●参観した受講者の感想…負担にならない1時間の設定。身近な問題を取りあげ、事前指導と準備が適切であった。子供が主役、全員を生かした司会振りは見事であった。要を得た生徒の発表、気負いのない生き生きとした委員会であった。この地の学校保健委員会は、まさしく「今日一日にして成らず」の充実感が溢れており、私たちに、やってみようとの意欲を与えてくれた。

●まとめ

開店休業になりがちな学校保健委員が、なぜ、高崎市では、定着しているのかを村田学校保健会長をはじめ、関係者から承けたまわった。

- ① 学校保健安全計画を基盤として運営
- ② 養護教諭を中核にし計画、実践、評価を繰返している。
- ④ 三師会、PTAと相提携いし実践。教育活動として展開。
- ③ 内容を少なく、一議題とし、60分以内に必ず終る工夫。

(群馬県 田島美代子)

3 北信越・東海ブロック (長野県)

ところ 公立学校共済組合長野宿泊所
「ホテル信濃路」参加人員 106名
とき 昭和56年7月27日(月)～8月1日(土)

「もりあがった歯科保健指導」

北信越・東海ブロック養護教諭実技講習会は、夏休みに入った7月末の一週間、長野市のホテル信濃路(公立共済施設)に106名の受講者を迎え、14項目に亘る講習を実施しました。

その中で受講者から特に好評だった「むし歯予防と保健指導」について、その概要を紹介します。

この講習は長野県歯科医師会にお願いし、同会の公衆衛生部の村居・鈴木の両副部長と青木委員の3人の先生を派遣していただき、先生方はそれぞれ御自分の衛生士さんまで補助に連れてきてくれました。

講義は村居先生から、これからの学校歯科疾患病態像、特に第一大臼歯が萌出と同時にむし歯になっている状態や、ひどい炎症を起こしている歯肉炎を正しいブラッシング指導によって見違える様に輝いた歯肉になっていく過程、その他、歯列不正・すし歯の原因について語られました。また、鈴木先生は、現在、学校の歯科検診で歯科治療を勧めることが中心になっているが、自分の歯は自分で守る自己管理の学級指導を中心にしたむし歯予防に変えていく必要性を強調されました。また、青木先生は、御自分で指導されているフッ素洗口の実施状況やその有効

性について、それぞれスライドを使って非常にわかり易く話して頂きました。

実技では、ブラッシングと染め出しの実習で、教室や廊下に洗口設備のない場合、洗口水を吐き出すポリバケツにクラフト紙を被い中央に穴を開けて洗口水が外に飛散しないようにくふうする。また、視覚的にも汚感を与えず清潔を保つ工夫などを教えていただきました。自分の歯のブラッシングと染め出しについては、皆子供のように首にタオルやハンカチを巻きつけ、ブラシを持ち口を真赤にしなが、手鏡で自分の歯を見たり、隣同志で見合っている姿は本当に真剣そのものでした。

なかには、まれいにみがない人も何人かいましたが、3人の先生方や衛生士さんが巡回しながら手を取ってブラシの使い方などを教えていただきました。まとめは、ブラッシングの難しさや子供たちの指導方法など、お互いに話し合っていました。

3人の先生方は、皆校医をしておりそれぞれの学校はもとより、地域におけるむし歯予防の中心的推進者で積極的な実践活動をしておられ、講義や実習を通して、むし歯予防に対する先生方の情熱が受講者の方々にも、ひしひしと感じられました。

最後に参加者の感想の多くは、「長野県の歯科医師会の先生方の熱心な活動には、ただ、驚いたり羨ましい思いで大変よい勉強をさせていただきました。治療よりも予防中心に指導をする。学校に帰って頑張る勇気がでてきました」と。

(長野県 平間美江)

4 近畿ブロック(奈良県)

ところ 助飛鳥保存財団 飛鳥研修宿泊所
参加人数 96名

とき 昭和56年8月17日～8月22日

深まった応急処置、保健指導資料作成等

8月の猛暑の中、近畿9府県市から96名の養護教諭が講習会に参加した。研修日程を終えた私達の目の前に広がる万葉の里、飛鳥の自然は、さすがにほっとさせてくれた。

養護教諭にもっとも期待されている仕事は何なのか。専門職としての職能を果たす分野は、時代とともに生徒をとりまく環境や考え方がどんなに変わってもやはり救急処置である。この領域での力量が私達の評価につながっている事実を痛感した。講習会の3日目に、日本赤十字社奈良県支部事業課長谷口先生から、応急処置についてご指導をいただいた。過不足のない説明やよどみなく語られる口ぶり、さらに使命感と熟練に裏づけされたご指導に、応急処置に携わるプロとしての姿勢を感じた。そして、視覚と感覚を通して体で覚えていくことの繰り返し、知識を技術に結び付けていくことだと改めて学びあった。

「保健指導資料の作成とOHPの活用」について、県教育センター研修主事亀井先生の講義とTP資料の作成は楽しい時間であった。教育効果を上げるためにいかに視覚に訴えるか。身近な素材をいかに教材資料として収集し精選整理していくか。まさにアイデアと根気強さの結集を見せられたような思いだった。

また、教育相談に関する研修が、今後校種別の事例研究になればと感じた。言葉はわかっている、悩み苦しんでいる生徒を援助していくことが、いかにしんどいかを、どの先生方も体験しておられると思う。心の問題は、ケース・バイ・ケースであればあるだけに、仲間の実践を聴き、事例研究の中で味わう、さまざまな人間関係や感情をみつめることが大切であると感じた。

この研修こそ時間がかかっても、のりこえ、深めていき、問題を解決する確な方法ではないだろうか。

受講した養護教諭の経験年数は、ほぼ共通しているが、講習会から学んだもの、感じたことはいろいろであったと思う。それぞれの学校に応じた執務を自分自身で作り出す重要さを、この6日間の実技講習会を通じて強く感じた。

(奈良県 新宅 幸子)

5 中国・四国ブロック(島根県)

ところ 松江市・ホテル宍道湖 参加者85名

とき 昭和56年6月29日～7月4日

心に問題を持つ児童・生徒の指導

——体験学習への取り組みから

精神衛生の講座となると講義、あるいは、事例発表が中心となる。しかし、今回は演習を中心とした研修形態とした。研修の内容は、総時数5時間を下記のように展開した。

11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
講義 (オリエンテーション)	昼食	演習	演習	演習	演習	演習
		体験学習 { 演習(紙上練習、テープレコーダーによる練習、面接場面練習) ロールプレイング(役割演技) }				

指導講師は、県教育センター平野課長以下4名のベテラン指導主事、研修主事にお願いした。

1. 本演習のねらい

(1)心に問題を持つ子どもは、年々増加の傾向にある。この子たちは、自分の悩みや苦しみを、言葉だけでなく、眼や表情、または、行動等によっても相手に訴えている。この子どもの心の動きを敏感に受止めてやれる温かい感受性を身につけること。

(2)心の健康問題については、既にかなり深い知識を

修得しているものの、現実的にこれを生かすことが難しい。今回の演習からクライアントへの関わり方を体験的に学ぶこと、これが第2のねらいである。

2. 演習の実際

85人の受講者が4グループに分れ、グループリーダー(指導者)を中心に「実際の場面でのクライアントへの関わり方」を学習した。学習内容としては

演習 { 紙上練習—紙面を使っての対応訓練
テープレコーダーによる練習
面接場面の練習—面接の仕方の練習
ロールプレイング(役割演技)—参加者がカウンセラーとクライアントになりきり、練習ではなく、実際の相談活動を体験した。

以上のように、さまざまな場面で多角的な学習が展開できた。

参加者の大部分は、初心者であったため感動をかくしきれない様子であった。

1.子どもとの関わりの中でいかに相手への思いやりが大切であるかわかった。2.一語一語の言葉の重さを痛感した。3.今までの自分の生徒理解の浅さと指示的であった自己を発見でき、大変勉強になった。4.時間が短かすぎた。5.今後は是非続けてほしい等々かなりの反響があり、印象深い研修であった。

(島根県 曾田早苗)

6 九州ブロック(佐賀県)

ところ 佐賀県武雄市 武雄温泉ハイツ
とき 昭和56年7月20日～7月25日

「心に問題をもつ児童生徒の指導と実際」

はがくれの里、武雄温泉郷の山あい建つ武雄温泉ハイツで九州各県より100名の養護教諭があつまり、この研修会を開催した。

5泊6日の長期研修の中から特に話題にのぼった項目は、九州大学心療内科講師杉田峰康先生の「心に問題を持つ児童生徒の指導と実際」であった。

養護教諭の日常の執務の中で保健室を訪れる子どもの、特に心に問題を……の指導は身近な最も関心の高い内容であり、実践への足がかりとなることであろう。

〈講義内容〉

1. 心に問題をもつ生徒を理解する手段としての交流分析

A. 三つの私(自我状態の分析)

- 1) ①ペアレント(親の自我状態)
 - 2) ②アダルト(大人の自我状態)
 - 3) ③チャイルド(子供の自我状態)
- } 三つのタイプ

人にはそれぞれ、①、②、③の特色がある。

B. 心の問題の諸相、構造分析

①の優位：強迫タイプ

特色：完全癖、気の問題、とらわれ

②の優位：ヒステリータイプ

特色：感情不安定、自己顕示

③の優位：失感情タイプ

特色：感情表現の欠如、過剰適応

C. 交流パターンの分析

- (1) 協調的なふれあい (相補的交流)
- (2) 反発的なふれあい (交差的交流)
- (3) 裏のあるふれあい (裏面的交流)

2. 心に問題をもつ児童生徒の指導

A 面接によるアプローチ：受け入れて分ってやる。

1) 分る技術…まず、何がわからないかを突きとめる。

2) 4つのタイプ

- ①自分のことを誰にも、わかられたくない。
- ②自分のことは、誰にもわからない(憂うつ)
- ③すべて自分には、分かっていると信じる。
- ④自分のことは、すでにわかれている。

B 生徒とのゲームをやめる。

(1) 教師の演じやすいゲーム

(2) 否定的な感情の活用

- ①自分の心境によって、相手の心境を推測
- ②相手の問題として、語りかける

4時間にわたって事例を中心とした講義であった。緊張あり、笑いがあり、時間があればさらに講義ををつづけてもらいたいほどみ力あるものであった。(佐賀県 飯盛延子)

学校保健協議大会における

学校保健の充実に関する要望事項、研究課題

要 望 事 項

研 究 課 題

1. 児童生徒の定期健康診断において、心臓検診の充実を図るため、心電・心音計に要する経費の子算化を図られたい。
2. 教職員の学校保健に関する資質の向上を図るため、研修事業の拡充、教育職員免許状の取得に当り「学校保健」を必修単位とするようにされたい。
3. 養護教諭の未設置校の解消及び大規模校に対する複数配置について措置されたい。
4. 学校保健センター的事業の出版物の活用と配布部数の増加を図る。

1. 児童生徒の健康診断の充実と健康安全管理の強化について。
2. 教職員の定期健康診断の考察について。
3. 学校医、学校歯科医、学校薬剤師の待遇改善について。
4. 学校保健活動の強化について。
5. 日本学校安全会法における疾病基準の範囲拡大について。

昭和56年度版

学校保健の動向

学校保健の実態をとらえ現場に生かす白書!

定価 2,000円 千200円

日本学校保健会編

学童の集団検尿には 潜血検査も

キッドステックTM

Kidstix

ヘマコンピステックTM

Hema-Combitix

製造元: エームス事業部 販売元: 三共株式会社
マイルス・三共株式会社

育ちざかりのひと粒!

体力をつけ健康を保つ

カワイ肝油ドロップ



製造発売元 河合製薬株式会社 東京都中野区新井2-51-8

これからの教室、体育館などの学校清掃管理は——SCシステムで!

安全
で
清潔

- 塗るだけでピカピカ!!
- 滑らないので、安全です。
- 水性タイプなので清潔です。



体育館床の保護・ツヤ出し、すべり止め効果があり、ダストコントロール作業にどうぞ。



推薦

日本学校保健会



ペンギンワークス

*カタログご希望の方は、SCS係宛お申し込み下さい。

本社・大阪市東成区東中本3-10-14(〒537) TEL.06(976)1451
支店・札幌・東京・名古屋・大阪・高松・広島・福岡

歯ブラシはお口に合せて選びましょう。



推薦 日本学校保健会

バネットライオン ジュニア

ライオン株式会社